

01 PHPって？怖いの？

PHPは、ホームページを動かす「裏方」です。

名前を覚えたり、ご自身でプログラムを直したりする必要はありません。



普段は、便利な働きもの。

記事を表示したり、問い合わせを送ったり。

PHPは、たくさんのサイトを裏側で支えています。

今回は、その裏方に重大な弱点が見つかりました。

放置すると、サイトを勝手に操作されるおそれがあります。

修正版は公開済み。更新と、被害の有無の点検が大切です。

[1] PHP公式セキュリティ告知 [ア](#)

02 なんで騒がれたの？

多くのサイトに関わるため、 みんなが急いで対応しました。

「ニュースになった」ことと、「自分のサイトが被害にあった」ことは別です。

① 多くのサイトが、同じ仕組みを使っているから。

PHPは、たくさんのサイトに共通する土台です。

WordPressもPHPで動き、世界のサイトの約4割で使われています。

② AIで、弱点を調べるスピードも上がったから。

AIは、守る側にも攻撃する側にも使える技術です。

弱点の発見や攻撃方法の検証が速まり、素早い対応が求められます。

③ 被害を防ぐため、一時停止した会社もあったから。

今回は、ログインなしでも攻撃される危険がありました。

安全のため、サイトを一時停止して更新した会社もあります。

情報が広がり、対応はさらに急がれました。

公開前に一部の情報が広まり、修正版の公開も前倒しに。

AIによる速度の変化も背景にありますが、今回の個々の攻撃で

AIが使われたかどうかは、別途確認が必要です。

[1] PHP公式セキュリティ告知 [🔗](#)

[2] PHP Foundationによる経緯の説明 [🔗](#)

[3] W3Techs：WordPress利用統計 [🔗](#)

[4] さくら：PHP更新の緊急メンテナンス [🔗](#)

03 今後どうすればいいの？

更新と点検で、 サイトを安全な状態に。

今回の対応と、これから続けることを整理しました。

① 今回の弱点を直す、修正版へ更新。

PHPの対応状況を確認します。

PHP 8.3系なら、8.3.36が今回の修正版です。

② 不正な操作や、書き換えがないか点検。

サイトの中身やアクセス記録、不審な管理者の追加などを点検。

更新しても、すでに仕掛けられた不正なプログラムは消えません。

③ 今後も、更新と点検を続ける。

PHPだけでなく、WordPressや追加機能も更新します。

バックアップと定期点検も組み合わせ、異常を早く見つけます。

画面がおかしい・知らないページがあるときは？

その画面と気づいた時刻を残してください。

慌ててファイルを削除せず、調査に必要な記録を残します。

[1] PHP公式セキュリティ告知 [🔗](#)

[6] WordPress公式：侵害時の対応 [🔗](#)

04 ふだんから、これだけは

サイトの安全は、 日々の小さな備えから。

毎日の使い方を少し見直すだけでも、リスクを減らせます。

古いまま、放っておかない。

WordPressと追加機能、PHPを定期的に更新します。
作業前にはバックアップを取り、作業後は表示やフォームを確認。

パスワードを、大切に扱う。

使い回しを避け、二要素認証（追加の本人確認）を設定。
LINEやメール本文で、そのままパスワードを送り合わないようにします。

個人情報を、必要以上にためない。

問い合わせ情報や名簿は、必要な人だけが見られる場所へ。
保存期限を決め、不要になった情報は削除します。

いつもと違うことに気づいたら、記録を。

画面の写真、気づいた日時、直前に行った操作を残します。
『表示がおかしい』『知らないページがある』など、
小さな変化も、早く気づく手がかりになります。

[5] WordPress公式：セキュリティ強化 [➤](#)

[6] WordPress公式：侵害時の対応 [➤](#)